



【2学期を迎えて】

夏休みの後半、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出され、当初の計画通り過ごせなかった人も多かったと思います。やるべき事を先送りにしてしまうと予期せぬ事態に遭遇し、取り組めなくなってしまうことが多々あります。その時に抱く思いとして「後悔」があります。今回は、この「後悔」について話したいと思います。

東洋大学の戸梶亜紀彦教授(社会心理学)によると、後悔には「**行為後悔**」と「**非行為後悔**」があるそうです。「行為後悔」は結果が出てしまっているので反省しやすい。一方で「非行為後悔」は、こうしていたら…、ああしていたら…、という思いが強くなってしまいます。これを、事実と反していることを仮想すると書いて『**反実仮想**』といいます。このことが原因で、「非行為後悔」は後悔の念を断ち切れず、ズルズルと長引いてしまうとのことでした。コーネル大学の研究では、双方同様に後悔していたものの、時間が経つにつれて「やっておけば良かった」と後悔する人の割合が「行為後悔」の16%に対して84%の結果になったといいます。

また、アメリカの研究者ニール・ローズ博士(イリノイ大学の心理学者)も『人間は絶対後悔する生き物である。だったら、やらないで後悔するよりも、やって後悔しなさい』と自身の著書『IF Only』の中でも述べています。

さらに、Panasonic(旧ナショナル・松下電器産業)創業者の松下幸之助氏も同様に“「やらない後悔」より「やった後悔」のほうがいい”との言葉を、セミナーや講演会などで、繰り返し述べていたようです。

みなさんも新しいことや不安で一步前に踏み出せないでいることに、勇気を持って挑戦しましょう。そして、やるべき事は先送りせず、早いうちに取り組むよう心がけましょう。例え思い通りの結果が得られなかったとしても、大きな「**経験値**」を得ることになります。

臆することなく行動することに期待しています。

【参照：東洋大学 HP】

【トピックス】

現在、専門学校や大学への進路希望をしている3年生の内、AO入試や総合型選抜に挑戦している人がいます。学校によっては内定通知が送られている状況です。同様の進路選択を考えている2年生については、**既に受験シーズン**がスタートしていることとなります。どの学年についても共通して、自分自身のことを振り返り(自己分析)、進路先の情報を収集・分析(リサーチ)し、自分自身と志望進路先(アドミッションポリシー)とがマッチしているのかを判断出来るようにしておきましょう。

今後の日程

日付	行事	対象学年
08/30	始業式(放送)	全校生徒
	就職調整会議	3年職員
08/31	家庭学習(AM8:30 SHR を Google Meet で実施)	全校生徒
	スタディ・サポートおよび、到達度テスト(自宅受験)	1・2年
09/01	分散登校開始	1・2年
09/02	推薦会議②	3年職員
09/03	就職関係書類発送	3年
09/06	進路の日②・・・ 緊急事態宣言に伴い中止	全校生徒
09/09	大学入学共通テスト説明会	3年
09/11	ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試	3年
09/22	大学入学共通テスト志願票、 担任提出	3年
	推薦会議③	3年職員
09/29~10/01	2学期中間試験	全校生徒
10/01	指定校推薦校内内定者保護者説明会	3年
10/07	大学見学・・・ 受け入れ大学の準備が整わず中止	1年普通科
10/09	ベネッセ駿台記述模試	3年
10/14	実力診断テスト	1・2年ⅢⅣ保
10/16	第3回全統共通テスト模試	3年
10/24	第3回全統記述模試	3年
10/25	進路適性検査	1年普通科
10/30	ベネッセ駿台大学入学共通テスト模試	3年